

○感染者拡大に手が打てない岡山市

「近くの人が感染したけれども、保健所に電話が繋がらない」…。広がる不安の声の中、岡山市は「病状が重い方や重症化リスクの高い方等へ優先的に対応」という名目で、感染者以外には保健所からの連絡やPCR検査をしないという対応をとりました。これでは「なりゆきまかせ」の感染対策です。日本共産党岡山市議団は医療の確保、検査の拡大等を繰り返し提起しています。

参考：岡山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議資料（第53回 2月7日）
16ページより 会議資料全体は岡山市HPをご覧ください→



注：感染者の同居家族は自動的に濃厚接触者になり、保健所は関与しません。

【感染者と接触された方へ】

R4.2.7時点

同居家族は原則、濃厚接触者として自宅待機をお願いします。

感染者の同居
家族の方



- 待機期間は、原則、感染者の発症日か、家庭での感染対策開始日のいずれか遅い方の翌日から7日間です。
- 発熱などの症状があれば、医療機関を受診してください。
- 同居家族全員を対象としたPCR検査は実施しておりません。
PCR検査を希望される場合は、陽性者のPCR検査を実施した医療機関など身近な診療所（ただし総合病院を除く）へ相談いただくか、受診・相談センター（086-803-1360）へ連絡ください。

注：PCR検査をせずに「みなし感染者」になる場合があります。

その他、感染者と関係がある方



- 各自で体調管理をお願いします。
- 発熱などの症状があれば、医療機関を受診してください。
- 保健所から連絡はありません。

※高齢者施設の従業員などが感染者となった場合は、保健所が聞き取り調査を濃厚接触者等を特定します。

注：感染者の同居家族以外は（高齢者施設等は除く）濃厚接触者の特定はしなくなりました。

○子育て世帯へのコロナ対策 前進の国会答弁(しんぶん赤旗2月9日付より)

代替保育拡充を支援 厚労省 利用者負担なしの方向

厚生労働省は8日、新型コロナウイルスの影響で保育園が休園となった子どもを他の園や公民館などで預かる「代替保育」を確保するために新たな財政支援策を発表しました。利用者負担についても発生しない方向で検討しているといいます。日本共産党の宮本徹議員が1日の衆院予算委員会で代替保育の拡充を政府に求めていました。

「小学校休業等対応助成金」も改善の方向です。